

単元名：

「面積」

(全8時間扱い中 第3時)

授業日時 2021年10月15日(金)第1校時

授業学級 4年1組

授業会場 4年1組教室

授業者

指導者

(1) 主眼 (授業の手立て&ねらい)

図形は、自分で手を加えることができることに気づいた子どもたちが、4マスの図形を自分でかく場面で、三角形をどのように四角形にできるか考える活動を通して、同じ面積でも形が異なることへの面白さや様々な形で表現できることの喜びを、図形を変形できることと関連させながら感じることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 三角形を四角形にする方法を考える。	「24」 「それは移動させればできるよ」 「この飛び出ているところをここにもってくと正方形ができて数えやすくなる」 「なるほど」	・前時に扱った三角形の面積を確認する ・たいきさんの考えを確認する。 ・ゆうせいさんの考えを紹介する ・悩みを共有する ↳中途半端をどうするか ・わかさんの考えを紹介する 「わかさんはどうやって考えた？」 【電子黒板(児童の考えを映す)】 「切ったりくっつけたりすると三角形が四角形になって数えやすくなるんだね」 ↳ノートに書くよう指示する	10分
		【学習問題】4マスの形ってどんなものがあるのだろう		
		【学習課題】4マスの形を書いてみよう		
展開	2. 4マスの図形を考える。	「4マス！簡単だよ」 「そんな形できるんだ」 「だっていろいろいろいろかけそうだったから」 「それはここをもってくると四角形になるよ」 「あ！ほかにもある！」 「ぼくも書きたい！」	・黒板に4マスの四角形を書く ※電子黒板にも映す 「これは4マスだよ」 ・こうたさんの4マスを紹介する 【タブレット・電子黒板(こうたさんの図形を写真に撮り、それを電子黒板に映す)】 「なんでこれ書いたの？」 ※こうたさんが複雑な図形を紹介していたら本当に4マスか確認する その際、わかさんやたいきさんの考えも結び付ける 「4マスでいろいろな形を作れそうだね」 ・個人で4マスの図形を考える時間を取る 【ワークシート】	15分
	3. 出来上がった4マス	・こんなのあるよ ・もっとあるよ	「四角形とか四角形を集めた形を書いているひとどれくらいいる？」	20分

	<p>紹介する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なんか船みたいなやつできた ・ダイヤモンドみたい <p>「1、2、3、4…4マスだ」 「ここは三角形だけどこっちの三角形と合わせると四角形になるよ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わー変な形 ・これは絶対4マスだよ ・たくさんつくれたね 	<p>「四角形でもいろいろあるんだね」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスを数えて確認 <p>「四角形以外で考えた人いる？」 「□の部分はわかるけどこれ本当に4マス？」</p> <p>※手を挙げた人の写真をタブレットで撮り電子黒板に映す。確かめる際に、ペンで電子黒板に直接書き加えたりできるようにする</p> <p>【タブレット・電子黒板】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後に児童が考えた図形の写真をスライドショーということで電子黒板でもう一度一通り見せる 	
<p>終末</p>	<p>4. たくさんの図形をかいて思ったことを書く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな形を作ることができた。 ・おずかしいなと思った ・ほかの人の図形をみてそんなかたちもできるんだと思った ・自分で作ってみただけど前より形を変えることをして前よりも数えやすくなった 	<p>「今日は4マスの大きさしか考えていないんだけどたくさんの図形が出てきたね。」 「今日たくさん図形を書いてみて思ったことを書きましょう。」</p> <p>【ノート】</p>	<p>3分</p>

【本時の評価（評価する対象）】
 同じ面積でも形が異なることへの面白さや様々な形で表現できることの喜びを、図形を変形できることと関連させながら感じるができる。
 (ワークシート・ノート)